

スタジオから

- 例年であれば3月末までは62年度開講の授業番組の制作におわれ、4月になるとほっと一息ついて、スタジオも空きディレクターもやや暇になるのが常です。

しかし、今年度からは年度後半に制作が集中するのを出来る限り避けようと早くから計画をたてたお蔭か、4月からかなりの番組の収録をはじめることが出来ました。

テレビ	植物の生理
	都市の研究
	情報化時代の産業・技術
	生命論
	生命のしくみⅡ
ラジオ	青年の心理と教育
	産業と情報
	流通と商業
	人間の歴史
	近代文芸Ⅱ
	現代の数字観
	科学と宗教
	カウンセリング

以上の番組が収録を開始したものです。

- 4月は人事異動の時期ですが制作部もその例にもれません。
その一つは、外国人研究員を制作部ディレクター室に迎えました。
今回着任された外国人研究員を2人はいずれも番組の制作に縁のある方ばかりなのでディレクター室に席を設け当センターの番組制作を勉強していただくのがねらいです。

スタジオから

スタジオから

全く初めての試みなのでどれだけ期待にそえるか多少の不安もありますが
まずは意志の疎通をはかるところからはじめようと思っています。

ニコム・タダング

スコタイ・タマチラート公開大学助教授(タイ)

金 俊 漢

韓国放送通信大学教育媒体開発研究所企画制作部長
です。よろしくお願ひ致します。

スタジオから